

幼稚園等における子どもの環境世界の構造理解に関するフィールド研究

こども学科 **甲賀 崇史**

こう が たかし

● 連絡先 E-Mail : koukohga@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード

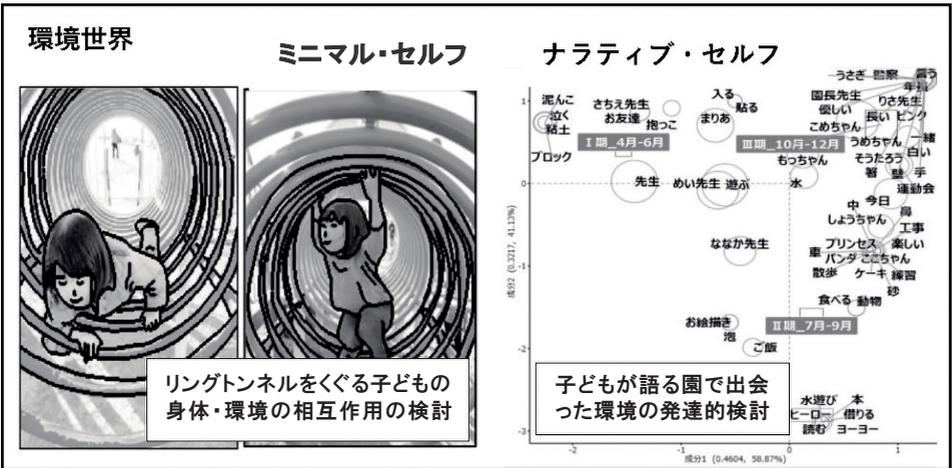
保育, 幼児教育, 環境, 環境世界, 自己, 意味



短期大学部

幼稚園等は、子どもが世界の豊かさに出会う場所です。小学校教育のようなカリキュラムに対応した具体的な学習内容やそれを明確に示した教科書のような教材が存在しない保育・幼児教育において、子どもの体験や経験を捉えていくことは教育が成立するための生命線といえます。そこで、幼稚園などを訪問してフィールド調査をおこない、子どもが身近な環境に関わりながらつくりだす世界（umwelt: 環境世界）を捉える研究に取り組んでいます。

環境世界は、体験あるいは経験している一人一人の子どもに固有の自己（self）が必然的にともありません（Thompson, 2004）。そして自己は、前反省的な体験の流れであるミニマル・セルフと、反省的に言葉で語られる経験であるナラティブ・セルフに区別されます（ギャラガー, 2000）。このことを踏まえて、行為のなかで現出する自己と言葉で語られる自己の2つの側面から、子どもの環境世界の構造を捉えることを目指しています。



アピールポイント

保育に関わる教育や研究で連携してくださる園を探しています！